

# 令和7年度郷土を愛する心を育む教育についての取組

## 上峰町教育委員会

教育委員会所在地:三養基郡上峰町大字坊所319-4

連絡先:0952-52-3908

学校数:小学校 1校、中学校 1校

### 上峰町の特徴や誇れるもの

- ・町域はほとんどが佐賀平野の一部に含まれており、平地が多い。町の北部には平安時代末期の武勇・源為朝が鎮西八郎と称して九州を平定する際、城を築いた「鎮西山」がある。
- ・江戸時代の中ごろから上峰町前牟田地区に伝わる「米多浮立（めたふりゅう）」が、地区の老松神社の秋祭りに奉納される。三人の若者が「天衝（てんつき）」と呼ばれる高さ2.5メートルほどの大きなかぶり物をかぶって舞う「天衝舞（てんつきまい）」は勇壮で、佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている。
- ・八藤遺跡から出土した太古木は、今から9万年前の阿蘇山の噴火によって大地に封印されたものであり、他に類を見ない学術的に極めて貴重なものである。

#### 上峰小学校の取組（5年生、6年生）

##### 5年生「稲文字づくり」

・5年生が総合的な学習の時間に、地域の産業のひとつである「稲作」について学習し「稲文字」づくりに取り組みました。地域の方の協力を得て、6月末に田植えをした稲を10月末に刈り取りをしました。

児童からは「稲文字づくりを通して、稲作について学ぶとともに、友達と協力して活動することの楽しさや達成感を味わうことができたのでよかった。」などの声が聞かれました。

##### 4年生「米多浮立」

・4年生が総合的な学習の時間に、地域の伝統文化のひとつである「米多浮立」について学習し、米づくりと浮立の関係について学びました。

地域の米多浮立保存会の方を招いた体験活動後には、児童から「自分も米多浮立の奉納に参加してみたい」などの声が聞かれました。



#### 上峰中学校の取組（2年生）

・2年生は地域の約30の事業所で職場体験学習を行い、地域の仕事を学ぶとともに地域の方々との交流を行いました。

・上峰町、外国の方の役に立ちたいとの思いで作成した特産物の英語の説明ポップを道の駅に掲示していただきました。直接外国の方に英語で説明する素晴らしい機会を頂き、とても充実した活動になりました。

生徒たちは次は何をしようかと模索中です。



#### 上峰中学校の取組（1年生）

・上峰中学校では1年生が総合的な学習の時間に、「郷土を知り、自分の生き方を考える」をテーマにして、「郷土調べ」「よさこい」「上峰太鼓」の4つのグループに分かれて探究学習や体験学習を行いました。

・県の重要無形民俗文化財に指定されている「米多浮立」など、上峰町の歴史や文化について地域の方々から学びました。調べた内容は、文化発表会で全校生徒や保護者に発表しています。

・「よさこい」「上峰太鼓」も地域の活動グループの方々から教えて頂いて、文化発表会や町の文化発表会で踊ったり演奏したりしています。



#### 上峰中学校の取組（3年生）

・3年生は、「郷土の未来・私たちの未来」をテーマに、上峰町について詳しく調べ、さらに横断的な学習として、社会科の授業で上峰町が持続可能な町にするためにという視点から考えました。6つのテーマに分かれ、町役場の方をラーニングパートナーとして迎えて、さらに深く考えました。実際に町議会議場で、町長役や議長役、議員役、執行部役の22名の生徒たちが代表で、「子ども議会」を開きました。議会のしくみを学ぶとともに、町の現状を調べたりする中で、郷土を大切にしたい心が育っています。

